

## 地域再生・元気企業の輩出は「原点回帰」と「ピスト」づくり！

連合会35周年記念フォーラムを開催！

沖縄県商工会連合会設立二十五周年を記念して県内二十四商工会、市町村長が集い、十月十五日、「沖縄県商工会、市町村フォーラム」を宜野湾市のラグナガーデンホテルで開催した。フォーラムは、シー・エス・デイ・コンサルタント代表の西里喜明氏をコーディネーターに、①「宮城篤実」嘉手納町長、②「安富勝」金武町商工会長、③「平良喜代子」読谷村商工会長、④「照屋義実」与那原町商工会長、⑤「大原正啓」石垣市商工会長の五人がパネリストとなり、地域活性化などについて討議を行った。宮城町長は、基地と併存する地域の実情を踏まえ、嘉手納二万四千町民の英知の結集と基地関連官公庁とIT企業の誘致に触れ、長期戦略設計の重要性と人集めの必要性を訴えた。安富町長は、西海岸リゾート地域との比較分析の中から、ビーチサッカーワールドカップ等の「ビーチスポーツイベント」誘致に活路を見出し、スポーツ、



発言する5人のパネリスト

地理的ハンディの克服と、多様な会員ニーズに対応するため、周辺地区商工会と連携した広域指導体制の取り組みを紹介、その試金石として石垣市、竹富、与那国町三商工会合による「ありんく

りん市」への出店実現を述べた。来賓の沖縄総合事務局「市原健介」経済産業部長は、パネリストの活動成果を高く評価したうえで、農商工連携事業で用意している多様なメニューを、実状に合わせた有効な使い方をしたいと提案した。「仲田秀光」沖縄県観光工部部長は、事業者のワンストップサービスの役割を果たしている商工会の活動を評価し、中小企業の支援と成長のために、県として年二十社の経営革新企業を目標にしていることを述べた。桑原全国商工会連合会常務理事は、むらおこし事業創設は沖縄からヒントを得たことや、元気企業輩出が一番の景気対策で究極の活性化になる。経営指導員の地道な巡回指導など商工会事業の原点回帰を強調した。最後に荻堂会長から、人事二元化の経緯に触れた上で、地域の元気企業輩出のため、行政と商工会の連携強化と、商工会組織、地域再生に対する一層の支援依頼を述べた。

芸能を通して地域住民交流が深まり経済効果に繋がった成果を述べた。平良読谷村商工会長は、紅イモによる超元気企業「株式会社ホルシエ」の輩出を紹介。農水商工が連携した「もずく井」の開発事例を述べた。照屋与那原町商工会長は、中小企業政策の転換期に、会員支援について「商工会が企業人材育成を支援する」支援体制を検討、セミナーを継続して地域のモデル企業づくり、経営革新認定企業九件の実績のプロセスを語った。大原石垣市商工会長は「八重山は一つ」を合言葉に、離島の



コメントする市原沖縄総合事務局経済産業部長

## 景気浮揚対策を要望決議！

## 34商工会が緊急集会

連合会と34商工会は15日、原油高騰による事業収益の圧迫、食料価格高騰による消費の冷え込みなどに対応する政府の総合経済対策の「果敢な実行」や、機動的な経済財政運営を求めた景気浮揚対策要望項目を決議した。要望書は県内の経済事情に合わせ、内容を調整した上で近く国や県などの関係機関に提出する。時期については政局を勘案し判断する。主な要望項目は次のとおり。①「緊急総合対策」の果敢な実行と機動的な経済財政運営。②中小企業支援の拡充強化。③中小企業の経営基盤強化。地域経済活性化と地域間格差の是正。



景気浮揚対策緊急集会の議場